

ケーススタディ <神奈川県立横浜平沼高等学校の場合>

神奈川県立横浜平沼高等学校は、昨年度から海外での教育旅行を実施しており、2009年10月には初めて、マレーシアへの教育旅行に挑戦した。アジア圏を選んだのもこれが初めてだったが、抱いていたイメージとは全く違ったと言う。同校の杉本静夫先生にお話を伺った。

【実施日時】 2009年10月20日～10月24日

【参加人数】 272名



Q マレーシアへの修学旅行は初めてということですが、なぜマレーシアに決めたのですか？

A 当校は神奈川県の国際理解・英語教育重点推進校に指定されているということもあり、昨年度より、英語圏の国への教育旅行を計画しています。今回も幾つか候補を挙げていた中、既にマレーシアへの教育旅行を実施している学校から、実体験談を聞くことができ、マレーシアにより興味を持つきっかけとなりました。そして、プログラムの内容や現地での様子をまとめたDVDを拝見し、とても良い印象を受けました。英語を使うというだけでなく、イスラムの宗教や、アジア国の面白さがあることを感じ、費用面でも問題のないマレーシアに決めました。やや複雑な異文化理解も目的のひとつでした。

Q プログラムを組むときにこだわったものはありましたか？

A どこへ行くにも同じであるとは思いますが、やはり観光旅行では体験できない、修学旅行だからこそと言えるものに挑戦したいと考えていました。その点では、2日目に実施した学校交流とB&Sプログラム(brother and sister program)は、とても充実したものでした。

学校交流では相手の学校の皆さんが大変歓迎してくださり、本当に良い時間を過ごすことができました。顔合わせでは、当校の生徒が浴衣を着て挨拶し、合唱を送りました。浴衣のファッションショーやソーランも踊りました。相手の学校も民族的な劇をやって見せてくれるなど、とても良い雰囲気ではじめることができました。



また、テントを張ってブースをつくり、互いの文化を紹介し合いました。当校からは、書道、茶道、日本語講座のブースを出し、相手校の学生たちに大変好評でした。中でも書道の人気が高く、色紙に文字を書いてあげると、とても喜んでくれました。道具一式を持参した甲斐がありました。相手校が出したブースには、竹細工のような伝統工芸講座が多くありました。互いのブースを自由に見て回る楽しさもあったと思います。

B&Sプログラムでは、現地の大学生と英語で会話しながら街を案内してもらえたことが、印象深かったようです。このとき、十分に話すことができたという生徒とそうでない生徒が、半数ずついたようですが、それは英語力に問題があるというよりも、生徒たちに積極性があるかどうかと深く関係していたのではと考えています。積極性も、コミュニケーション力の重要な要素だと悟った生徒も多かったのではないのでしょうか。うまく話せなかったとはいえ、最後には皆別れを惜しんでいた姿が印象的で、少なからずコミュニケーションをとることができた証と思え安心しました。

Q 生徒さんたちに人気があったものが他にあればおしえてください。

A カンポンビジットです。実は当初、カンポンビジットは生徒個人の希望選択による参加にしようと考えていました。ところが下見に行った際に、高床式住居のインパクトとそこでの暮らしを目の当たりにし、選択研修にしてしまうのは勿体無いと感じました。聞くと、生徒全員の受け入れも可能とのことでしたので、すぐに必須プログラムに加え直しました。



訪問時に植えた記念樹の横には、日本で作って持って行ったプレートをたてました。生徒たちは57班に分かれ、バングリス村の57軒の家にお世話になりました。バスを使い各家の前で次々と生徒たちを降ろしていく方法を取り、家と家が離れた場所にあっても、時間の無駄もなくスムーズに送り出すことができました。いただいた民族衣装を着て過ごした話、独特なゲームを教わったという話、また、全く英語が通じない家庭もあったと聞いています。驚いたのは昼食の感想でした。ほとんどの家庭でマレーカレーを用意してくれたそうなのですが、生徒たちは口々に、ホテルやレストランを含めどこで食べた食事よりも美味しかったと言います。現地の食べ物が口に合うかどうかを心配していた程ですから、意外でした。手で食べる体験も貴重だったでしょう。

それに、1時間程ではありましたが、エコツアーにも参加しました。コーヒー、油やし、またタピオカの根をチップスにしたものや、ゴムの木を見学しました。

Q 色々準備をされていることがわかりますが、やはり事前・事後学習にも力を入れましたか？

A まず生徒たちは、観光局からいただいたハンドブックを読み込むことから始め、半年間「総合的学習」という特設授業の時間に、調べ学習を続けました。これはあらかじめ、「自然」や「食べ物」など13ほどの項目を用意し、グループごとに毎回テーマを選び自由に調べ、発表するというものです。生徒たちは、インターネットや図書館など様々な場所で上手に情報を仕入れ、調査後はパワーポイントで発表資料をつくっていました。やはり事前知識があるのとないのとでは、研修最中の捉え方感じ方も大きく違うと思いましたから、もう十分だというくらいに学習していきました。

言語に関しては、普段から英会話にも力を入れ、少人数で行うオーラルコミュニケーションを取り入れた授業もあります。今回の研修に向けての対策としては、英語やマレー語の単語を生徒たちが調べていた成果がありましたから、その総まとめでミニ会話集を制作し、現地へ持っていけるよう9月には冊子として完成させていました。事後は、班毎の感想と写真を自由にまとめた小冊子を制作しています。

Q アジアの国で実施されてみて、印象はどのようでしたか？また今後の課題はありますか？

A マレーシアという国とそこに住む人々の見方が変わりました。発展途上国というイメージから、社会的に遅れている国、と考えがちでしたが、テレビや本から得た情報と実際は全く違うものでした。何ヶ国語も話することができる学生と会ったときも、本当に驚き、感心しました。多民族国家がゆえに、中国語、マレー語、英語を話せなければならない環境なのだということを、思い知らされました。生徒たちにとっては勿論のことだと思いますが、実際に見て触れることが大事だと、心から思いました。



反省点は、最終日のスケジュール内容です。世界遺産に触れようとマラッカまで向かいましたが、移動に相当の時間がかかり、見学と自由行動を終えた足で慌しく空港へ向かうことになってしまいました。スケジュール上厳しいだろうと判断し、見学するならばマラッカで一泊することも考えると良かったと思います。

Q これから行かれる学校におすすめしたいプログラムを1つ挙げるならば何でしょう？

A 学校交流です。受け入れ先の学校を探すことが少し難しいのですが、実現させると良いと思います。当校のように国際理解・英語教育を推進している高校には特に適しているのではないのでしょうか。今回は相手校がなかなか決まらずに苦戦したものですから、正直なところ、あまり期待できないのではと思いました。ところが、決定した学校が事前の打ちあわせから非常に協力的で、現地でも本当に素晴らしい経験をさせてくださり、感激しました



帰国後のアンケート調査でも、7割以上の生徒が、修学旅行を通して一番良かったのが学校交流だと言っています。修学旅行全体に関しても、8割の生徒が「満足した」という結果になりました。これだけの多数が満足できるということはなかなかありませんので、驚きもありました。良かったという感想を持つポイントはそれぞれ違ったかもしれませんが、皆どこかで満足してくれたということが嬉しいですね。来年度の修学旅行の行き先も、マレーシアに決めています。

—どうもありがとうございました。

平成21年度 神奈川県立横浜平沼高等学校 修学旅行 行程表

| 日付 | 内容 / 行程 | |
|---------------|--|--|
| 1日目 10月20日 | 16:00 成田空港発 JL723 11:30、MH071 13:30 発 JL723 17:50、MH071 19:40 着 昼食(機内食) ホテルチェックイン(シャアアラム) 夕食(BOX軽食) | |
| 2日目 10月21日 | 6:15 起床 7:00 朝食(ホテルレストラン) 8:30 ホテル出発 9:00 学校交流(Shah Alam Technic Secondary School) 昼食(学内) 13:00 学校出発 14:00 B&Sプログラム(地元学生と一緒に自由散策) 17:00 夕食(客家レストラン) | 18:00 ホテルツアーへ出発[希望者](スコールのため中止) 小船に乗りホテル鑑賞(約20~25分) 20:30 ホテルへ 22:00 ホテル着 |
| 3日目 10月22日 | 6:00 起床 6:45 朝食(ホテルレストラン) 8:00 ホテル発 9:30 エコツアー、植樹体験、カンボン訪問 昼食(各家庭でマレー料理) 13:30 クアラルンプールへ出発 15:00 到着、選択体験学習 パティック工場とチョコレート店 ビューター工場とチョコレート店 ブトラジャヤ見学とチョコレート店 バードパーク見学とチョコレート店 18:30 ショッピングセンター「バビリオン」集合 19:30 夕食(マレー舞踊鑑賞) 22:30 ホテル着 | |
| 4日目 10月23日 | 7:15 起床 8:00 朝食(ホテルレストラン) 9:30 ブルーモスク車窓見学 12:00 マラッカ着、マラッカ散策 昼食(各自) 16:00 マラッカ発 | |
| 5日目 10月24日 | 16:30 夕食(ニョニャ料理) 17:30 空港へ出発 19:30 空港着 JL723 22:50、MH071 23:30 発 JL723 7:00、MH071 7:40 着 朝食(機内食) 成田空港着、解散 | |